



皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム: くあせやなみ さん からの質問
どうやってオスかメスか
決めているんですか?

ご質問、ありがとうございます。

それぞれの個体がオスかメスかというのは、生まれた時から決まっています。飼育員は動物ごとの見分けポイントを使ってオスかメスかを判断しています。今回は、動物のオスメスの見分け方について紹介していきたいと思います。

まずは、哺乳類。例えば、アカカンガルーのオスは



大きな体にオレンジがかった体色。メスは体が小さめで灰色の体色をしています。また、近くで見ないとほとんどわかりませんが、メスのお腹には子どもを育てるための袋があります。このように哺乳類の場合は、外見や生殖器で性別が分かる場合がほとんどです。

次に鳥類。オスが黒色、メスが灰色の羽をもつダチョウや、オスが鮮やかな羽の色になるカモの仲間など、一部の種類は外見で性別が分かりますが、多くの鳥類は外見での性別判定が困難です。



外見での性別判定が困難な種の場合、繁殖のためのペアリングなど、性別判定が必要な場合には、DNA検査などで性別を調べることもあります。オスもメスも同じに見えるペンギンやコンゴウインコなどの性別が分かっているのは検査をしたからです。その他、卵を産むことでメスだとわかる場合もあります。

最後に爬虫類。鳥類と同様、ほとんどの爬虫類は外見では性別がわかりません。鳥類と同じく、検査をしたり、産卵や行動を観察したりすることによって性別を判断しています。

オスとメスの見分け方は簡単な動物もいれば、難しい動物もあります。性別がわかる動物は、個体看板に書かれていますので、個体がオスかメスか気になった時にはぜひ注目してみてくださいね。